

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/09/09

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.75	0.12
JPY/THB	0.2370	0.0026
USD/JPY	142.30	-1.15
EUR/THB	37.40	0.04
EUR/USD	1.1084	-0.0027
USD/CNH	7.095	0.005
SGD/THB	25.83	-0.03
AUD/THB	22.48	-0.18
USD/INR	83.95	-0.03
USD Index	101.18	0.07

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.279	-0.009
10Y (THB)	2.546	-0.007
5Y (USD)	3.485	-0.052
10Y (USD)	3.708	-0.019

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,501.5	-18.2
WTI (Oil)	67.67	-1.48
Copper	8,996.0	-96.0

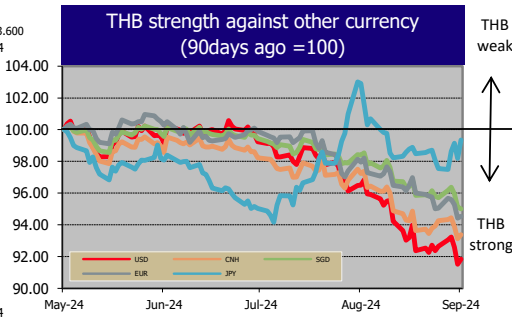
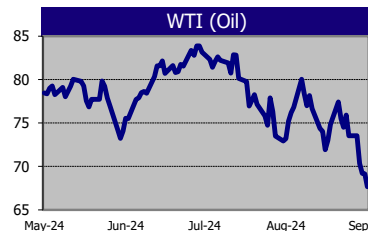
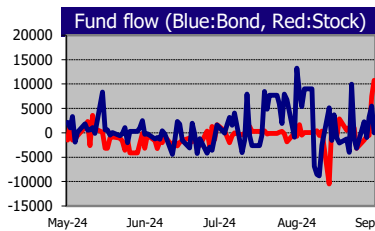
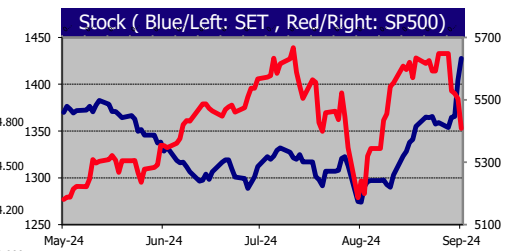
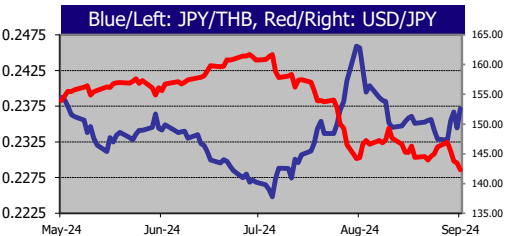
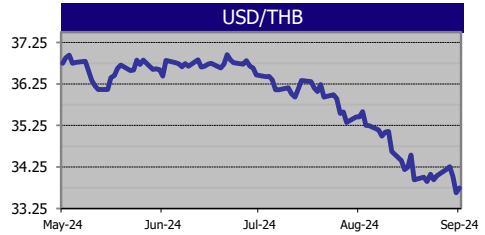
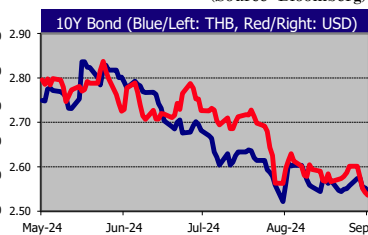
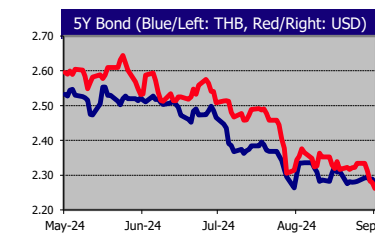
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,427.64	23.36
NIKKEI (JP)	36,391.47	-265.62
DOW (US)	40,345.41	-410.34
S&P500 (US)	5,408.42	-94.99
SHCOMP (CN)	2,765.81	-22.51
DAX(GER)	18,301.90	-274.60

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	10,757	3272.0
Bond net flow	(21)	-5534.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・6日(金)のドルパーツは小幅に上昇。33パーツ台半ば付近で取引を開始すると、海外時間に米8月雇用統計の発表を控える中、オープン水準は維持しながらも上値の重さが意識される値動きが継続。注目された米8月雇用統計は非農業部門雇用者数は市場予想に届かなかったものの、失業率、賃金は改善するという強弱入り混じる結果に。同指標の結果を受けてドルパーツは33パーツ台前半から後半にかけて大きく上下するも、終盤にかけては33パーツ台後半の水準で一服。結局そのまま33.75レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・6日(金)のドル円は下落。143円台前半の水準で取引を開始。他のアジア通貨同様、米8月雇用統計の発表を海外時間に控え、上値重く推移し、一時142円台前半まで下落。ただ、海外勢が参入してくると、143円台前半まで戻し、雇用統計の発表を前に往ってこいの展開に。注目の雇用統計は強弱入り混じる結果となり、ドル円相場も上下するも、142円台前半の水準で動きが一服。結局先行き不透明感高まる中、円の強さが際立つ格好となり、そのまま142.30レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週金曜日、大きな注目を集めた米8月雇用統計が発表され、非農業部門雇用者数が前月対比+142千人と市場予想(同+165千人)を下回り、過去2カ月分についても下方修正(6月分:179千人→118千人、7月分114千人→89千人)される結果となった。ただ、失業率が市場予想通り低下したため、前回発表時のように米国景気に対する悲観的な見方が広がる展開とはなっていない。かかる中、市場の今後の米利下げパスに対する見方については、同指標発表直後に行われたウォーレFRB理事の講演に「経済指標で一段と大きな幅での利下げの必要性が示されれば、支持する」と言及されたこともあってか、今月のFOMC(17-18日)での利下げ幅については0.25%という見方がやや優勢となっている。ただ、0.50%の利下げを見る向きも未だ根強く残っており、まだ予断は許さない状況と言える。また、同じく気にかかるのは今月以降の利下げパス巡る思惑である。米雇用統計の結果を受けて、年内5回分(0.25%×1回分)の利下げを徐々に織り込む動きが目につくようになっていく。仮に今月の利下げが0.25%であったとするならば、残り2回分(0.50%×2回分)の利下げが行われるということとなるが、やや行き過ぎ感が否めない。こちらはまだ材料を確認する時間が相応に残されており、経済指標の結果等に振られる展開が想定されよう。まずは今週11日(水)に発表予定の米8月CPI、そして今月FOMC後に発表予定のドットチャートに注目しておきたい。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.